

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	福井大学
連携大学名	金沢大学、富山大学
事業名	北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン

① 本事業終了後の達成目標

	本事業終了後の達成目標
達成目標	<p>本事業では、専門医・医療機関偏在が問題となる地域でアレルギーの総合診療を実践し、地域医療計画や災害リエゾン活動におけるアレルギー疾患対策の中心的役割を担う人材を育成することを目的とする。単位互換を導入した相互補完的教育コースを新設し、web会議システムでの遠隔教育により多施設・多職種連携を推進する。さらに北陸難治アレルギー疾患データベースを構築し、アレルギー疾患医療拠点病院を中心とした地域アレルギー疾患対策に活用し成果を社会に還元する。教育プログラム・コースの実施数は、本科コース2、インテンシブコース4の計6コースであり、これらの教育プログラム・コースの習得により、本事業全体として3年間で、医師（18名）、薬剤師・看護師等（12名）30名のアレルギー疾患専門医療人を輩出し、地域医療へ貢献する。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		R1年度	R2年度	R3年度
インプット ・ プロセス (投入、 入力、 活動、 行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・連携3大学、拠点病院や基幹病院間の症例検討会を毎月開催する ・キックオフセミナー・市民公開シンポジウム（150名以上の参加者）を開催し啓発活動を行う ・北陸アレルギーセミナーを開催する ・本科コース・インセンティブコース共に募集要項・パンフレットを作成し、令和2年度履修者募集を開始する ・e-learning用教材の収録・作成を行う ・連携3大学及び医療圏毎の主要医療機関（福井県内を中心に6か所に導入）にweb会議システムを順次導入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・本科コース：アレルギー研究者育成コース 医師2名、総合アレルギー専門医育成コース 医師2名の受入れ ・インテンシブコース：アレルギー専門医リーダー養成コース 医師4名、地域アレルギースペシャリスト養成コース 医師1名、エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース 医療従事者1名、地域アレルギー専門医療人養成コース 看護師・保健師・薬剤師・栄養士5名の受入れ ・次年度の本科コース・インセンティブコースの履修者募集を開始する ・北陸アレルギーセミナーを開催する ・月1回の拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会を継続する ・市民公開シンポジウム、患者相談会（150名以上の参加者）を開催し啓発活動を行う ・e-learning用教材の収録・作成を継続して行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・本科コース：アレルギー研究者育成コース 医師2名、総合アレルギー専門医育成コース 医師2名の受入れ ・インテンシブコース：アレルギー専門医リーダー養成コース 医師4名、地域アレルギースペシャリスト養成コース 医師1名、エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース 医療従事者1名、地域アレルギー専門医療人養成コース 看護師・保健師・薬剤師・栄養士5名の受入れ ・北陸アレルギーセミナーを開催する ・月1回拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会を継続する ・本事業成果報告会を兼ねた市民公開シンポジウム（150名以上の参加者）を開催し啓発活動を行う ・e-learning用教材の内容の更新を行う
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・学長連絡協議会及び北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン運営協議会を開催する ・各種委員会（総務・企画委員会、教務委員会、データベース委員会）のweb会議を開催し、令和2年度からの教育プログラム・コース設置に向け、関連規程等の整備を開始する ・「北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン」ホームページを立ち上げる。 ・北陸難治アレルギー疾患データベース構築を開始するとともに、運用にあたり必要となる倫理審査等各種手続きを開始する ・内部評価委員会の委員を選出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸難治アレルギー疾患データベースへの登録を継続するとともに、登録データの解析を開始する ・学長連絡協議会及び北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン運営協議会を開催する ・各種委員会（総務・企画委員会、教務委員会、データベース委員会）のweb会議を開催する ・外部評価委員会の委員を選出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸難治アレルギー疾患データベースへの登録を継続するとともに、登録データの解析を継続する ・学長連絡協議会及び北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン運営協議会を開催する ・各種委員会（総務・企画委員会、教務委員会、データベース委員会）のweb会議を開催する ・内部評価委員会及び外部評価委員会を開催する ・本事業の3年間の成果の取りまとめを行う

		R1年度	R2年度	R3年度
アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> web会議システムを導入した連携3大学及び医療圏毎の主要医療機関（福井県内を中心に6か所に導入）間の症例検討会を毎月開催 キックオフセミナー・市民公開シンポジウム（150名以上の参加者）を開催 北陸アレルギーセミナーを年1回開催 本科コース及びインセンティブコースの令和2年度履修者の決定 e-learning用教材を30コンテンツ程度収録し作成 	<ul style="list-style-type: none"> インテンシブコース修了者：アレルギー専門医リーダー養成コース 医師4名、地域アレルギースペシャリスト養成コース 医師1名 大学間、医療圏毎の主要医療機関間のweb会議システムを石川県、富山県内も含め拡充 本科コース及びインセンティブコースの令和3年度履修者の決定 北陸アレルギーセミナーを年1回開催 月1回の拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会を開催 市民公開シンポジウム、患者相談会（150名以上の参加者）を開催 e-learning用教材として10コンテンツ程度収録し作成 	<ul style="list-style-type: none"> インテンシブコース修了者：アレルギー専門医リーダー養成コース 医師4名、地域アレルギースペシャリスト養成コース 医師1名、地域アレルギー専門医療人養成コース 看護師・保健師・薬剤師・栄養士5名、エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース 医療従事者1名 北陸アレルギーセミナーを年1回開催 月1回の拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会を開催 大学間、医療圏毎の主要医療機関間のweb会議システムを石川県、富山県内も含め拡充 本事業成果報告会を兼ねた市民公開シンポジウム（150名以上の参加者）を開催 e-learning用教材の更新
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 「北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン」ホームページの公開 内部評価委員会を開催し問題点の評価と次年度に向けての改善の提言を受ける 本科コース：アレルギー研究者育成コースの特論科目について、大学院課程の科目として新設の承認を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの必要情報の追加等を行い、本事業の認知度の向上を図る 症例検討会の参加者から要望等を吸い上げ知識と技能の提供の改善を行う 外部評価委員会を開催し問題点の評価と次年度に向けての改善の提言を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの必要情報の追加等を行い、本事業の認知度の向上を図る 症例検討会の参加者から要望等を吸い上げ知識と技能の提供の改善を行う 事業期間終了後の大学院課程の実施方法の検討を行う 内部評価委員会と外部評価委員会による本事業3年間の評価を行う
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		<ul style="list-style-type: none"> インテンシブコース受講者のうち、小児アレルギーエデュケーター取得希望者を増加させる アレルギー専門医を増加させる 県アレルギー疾患医療連絡協議会が主催する講習会等に、指導者として参加する人員が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> インテンシブコース受講者のうち、小児アレルギーエデュケーター取得希望者を増加させる アレルギー専門医を増加させる 県アレルギー疾患医療連絡協議会が主催する講習会等に、指導者として参加する人員が増加する
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 連携3大学を含むアレルギー疾患対策拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会の開始による病診・病病連携の開始 ホームページで公開することによる本事業の周知 市民公開シンポジウムにより一般市民へのアレルギー疾患に関する啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 連携3大学を含むアレルギー疾患対策拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会の開始による病診・病病連携の拡充 ホームページへの情報提供による本事業の周知 市民公開シンポジウムにより一般市民へのアレルギー疾患に関する啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 連携3大学を含むアレルギー疾患対策拠点病院と各医療圏の基幹病院間での症例検討会の開始による病診・病病連携の拡充 ホームページへの情報提供による本事業の周知 市民公開シンポジウムにより一般市民へのアレルギー疾患に関する啓発

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、今回のテーマの背景を明確に理解し、確実に取り組むべき課題として、全国の大学を先導し、学長のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	連携3大学の学長で構成する学長連絡協議会を設置し、事業の進捗を管理する。また、大学・地域医療機関・医師会・自治体等による北陸アレルギー専門医療人育成運営協議会（年1回開催）を設置し、意思決定及び運営を行う。 事業期間終了後も、本プログラム終了時点で育成された高度医療人は、アレルギー疾患対策拠点病院との人材交流を通してアレルギー診療ネットワークを構築し継続的な取組を行っていく。
②	客観的なアウトプット、アウトカムを年度毎に明確にした上で、自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国のモデルとなる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、本事業における多職種養成等の特性を踏まえ、履修する学生や医療従事者等が受講しやすい環境整備に配慮するとともに、受講者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	北陸アレルギーセミナーを年1回以上開催、症例検討会を毎月1回開催し、その参加者数を評価対象とする。北陸難治アレルギー疾患データベースに関しては登録対象疾患の種類、登録患者数を評価対象とする。これらの数値を年度毎に点検評価する。また、内部評価委員会及び外部評価委員会を設置し、委員長を中心とした評価を実施する。これら学内外の評価をもとにPDCAサイクルによる事業の改善と発展を目指す。本事業では専門医のみならず、専門医取得を目指す医師自体が偏在している地域特性を考慮し、Web会議システムを利用したe-learning、遠隔講義の受講、遠隔診療による病診・病病連携による実習を利用することで受講環境を整備する。受講者が、それぞれの地域においてアレルギー専門医療人として活躍できるようにサポートし、キャリアパス形成につなげる。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学の参考に資するよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等についても積極的に発信するなど、成果等の普及・展開に努めること。	事業の実施状況や成果は、ホームページで公表する。また、市民公開講座・シンポジウムを開催し、成果を地域に広く発信する。e-learning用の教育コンテンツは著作権の問題を確認の上、ホームページから医療人教育用に利用できる体制を構築する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
医師を対象として設置する教育プログラムが1年と短く、診療科の枠を超えたアレルギー疾患の治療ができる人材養成には不十分である。	インテンシブコースの学習期間は1年間としているが、症例検討会及び北陸アレルギーセミナーへの参加はコースの受講期間終了後も、病診・病病連携として継続することを前提としている。症例検討会及び北陸アレルギーセミナーへの参加を通して、不足している領域の疾患・診療の管理方法の修得を目指す。
リーダー養成のためにはポストの確保が重要であるが、キャリアパス構想に具体性がない。	地方の各医療圏におけるアレルギー診療のリーダーを育成するため、インテンシブコースの受講者は各医療圏のリーダー候補者となる人材を想定している。令和2年度に育成されたリーダーを中心に、各医療圏におけるリーダー候補者を増加させる。本プログラム終了時点で育成された高度医療人は、アレルギー疾患対策拠点病院との人材交流を通して、アレルギー診療ネットワークを構築する。
金属アレルギーの観点からも、歯科医師の参画が重要と考えるが、積極的な取組が見られない。	福井大学附属病院歯科口腔外科スタッフの協力のもと、歯科補填材料に用いられる金属、金属アレルギーの症状としての口腔内病変について学習できる e-learnig教材を作成する。金属アレルギーに関心のある歯科医師に対し、金属アレルギーによる口腔病変以外の皮膚など他臓器の症状、金属アレルギーの診断法に関して、e-learnigなどで学習できる機会を提供する。

⑤ 本事業ホームページURL(※ 提出時点でホームページが作成できていない場合は、作成見込年月を記入するとともに、完成次第URLのご連絡をお願いします。)

当該事業ホームページURL	2019年10月作成開始、12月までに公開予定
---------------	-------------------------